

高規格救急自動車仕様書

令和7年度

駿東伊豆消防本部

目次

第1 総則

1	目的	1
2	適合法令	1
3	製作上の注意	1
4	特許等	1
5	製作台数	2
6	納入期限等	2
7	契約締結後の協議事項等	2
8	製作図書等の提出	2
9	緊急自動車届出書関係	3
10	登録等	3
11	保証期間	4
12	費用負担	4
13	その他の一般事項	4

第2 検査

1	中間検査	5
2	完成検査	5
3	納入検査	6
4	その他必要な事項	6

第3 車両概要

1	主要諸元	6
2	車両外装	8
3	車両内装	10
4	積載又は設置する業務機器	16

第4 その他の事項

1	文字等の表示	17
2	取付装置・積載品・車両概要（表）	17
	詳細図	18
	別表1	19
	別表2	19
	別表3	20
	別表4	22

第1 総則

1 目的

この仕様書は、駿東伊豆消防本部（以下「消防本部」という。）が、令和7年度に製作する高規格救急自動車（以下「救急自動車」という。）の仕様、その他関係事項について定めるものとする。

2 適合法令

救急自動車は、次に掲げる法令等に適合し緊急自動車として承認が得られるものとする。

- (1) 道路運送車両法（昭和26年法律第 185号）
- (2) 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
- (3) 電波法（昭和25年法律第 131号）
- (4) 救急業務実施基準（昭和39年自消甲教発第 6 号）
- (5) その他関係のある法令

3 製作上の注意

この仕様書及び承認図書に適合して製作するとともに、次の条件を満たし救急自動車として最適な構造及び性能を有するものであること。

- (1) 救急自動車は、十分な強度及び安定度を有し、耐久性及び耐食性に優れた走行安定性の良い緊急車両であること。
- (2) 防水措置及び防錆措置を十分行うこと。
- (3) 清掃、点検、調整及び修理が容易に行える構造であること。
- (4) 使用材料

ア 使用材料及び部品は、全て新規製品又は新品とすること。

イ 救急自動車に使用する材料及び部品は、特に指示するものを除き日本産業規格品を使用すること。ただし、ボルトナット類は ISOねじ又はこれに準ずるものを使用すること。

4 特許等

工業所有権に関する法令、第三者の有する特許法（昭和34年法律第 121号）、実用新案法（昭和34年法律第 123号）又は意匠法（昭和34年法律第 125号）上の権利及び技術上の知識を侵害することの無いよう必要な措置を講ずること。

また、それらの運用及び適用に係る費用は、受注者の負担とする。

5 製作台数

3 台

3 台のうち 1 台（救急沼津 7 号車）は、電動式ストレッチャーを積載し、3 台のうち 2 台（救急田方 4 号車及び救急東伊豆 1 号車）は、手動式ストレッチャーとする。

なお、メインストレッチャーの詳細は、後述する車両内装の部分及び別表 3 を確認すること。

6 納入期限等

(1) 納入期限

令和 7 年 12 月 9 日（火）

(2) 納入場所

消防本部が指定する場所

(3) 納入完了

納入後、この仕様書に定める全ての項目にわたり、消防本部の検査合格をもって納入完了とする。

7 契約締結後の協議事項等

(1) 協議

ア 受注者は、契約締結後、救急自動車の製作に先立ち、本仕様書及び承認図書等により消防本部と詳細に協議し、必要な指示を受けること。

イ 救急自動車に関する全てのことについて消防本部と連絡を密にすること。

(2) 変更、疑義等

受注者は、製作に当たり、技術上変更を要する場合及び疑義のある場合は、速やかに消防本部の担当者と調整を図り、消防本部の見解に従い責任をもって製作施工すること。

また、製作進行中、仕様書及び承認図書を変更する必要がある場合は、消防本部と協議し、消防本部の指示を受け確認の図書等を取り交わすこと。

8 製作図書等の提出

(1) 承認図書

受注者は製作に先立ち消防本部と細部の打ち合わせを実施した上で、次の関係図書を A 4 版にファイリングし各 2 部を提出し、消防本部の承認を受けた後

に製作を開始すること。

ア 諸元表

イ 製作工程表（中間検査、完成検査（納入前）及び納入予定日を記入すること。）

ウ 製作外観図（前後、左右側面、上面 5 面図）

エ 室内配置図

オ 電気系統図及び配線図

カ その他消防本部が指示したもの

(2) 完成図書

受注者は完成車納入時に次の図書を提出すること。

ア 完成図

イ 自動車検査証（写し）

ウ 自動車損害賠償責任保険証明書（写し）

エ リサイクル料（預託証明書：写し）

オ 緊急自動車等届出確認書（写し）

カ 救急自動車等の取扱説明書（自動車・資器材・各装置等のうち添付可能なもの）

キ 完成写真（車両前後面、左右側面及び車上面を日付入りにて写真撮影）

ク 改造自動車審査結果通知書等（写し）

ケ その他消防本部が指示したもの

9 緊急自動車届出書関係

静岡県公安委員会に対し緊急自動車届出書を提出すること。

なお、申請に必要な書類及び様式は、申請日の20日前までに消防本部に持参すること。

10 登録等

(1) 新規検査（新車登録）

静岡運輸支局の新規検査に合格し、登録すること。

(2) 車両新規登録検査は、受注者が消防本部の手続を代行し当該検査を受け合格すること。

なお、登録に必要な書類及び様式は、登録日の20日前までに消防本部に持参

すること。

(3) その他車両運行等に必要な登録は、受注者が消防本部の手続を代行し行うこと。

(4) 納入までに要する経費は受注者の負担とする。ただし、車両登録に要する経費のうち、自動車損害賠償責任保険、自動車重量税及びリサイクル料の費用は消防本部の負担とする。

(5) 救急自動車の取扱要領及び装備機器の取扱いについては、各専門業者による消防本部に対する技術指導を受注者の責任において実施すること。

11 保証期間

保証期間については、完成車納入後1年又はメーカー等で定める期間とし、ぎ装、設計等に起因する故障等の不具合が生じた場合には、受注者の責任において無償により修復等を行うこと。

12 費用負担

次に関する費用は、受注者が負担すること。

(1) 救急自動車の設計等の関係図書の製作に係る費用

(2) 各種検査、新規登録に関する費用（自動車損害賠償責任保険、自動車重量税及びリサイクル費用は、本仕様に含まない。）

(3) 完成車の回送費用

(4) 技術指導に関する費用

(5) 納入時の燃料（満量）の費用

13 その他の一般事項

(1) 新製品等

ア 救急自動車は、新規車両とすること。

また、積載品及び付属品は、消防本部が指定するものを除き、新品のものを使用すること。

イ 契約から納入するまでの間に、各種装置及び資器材の改良又は開発等が行われ、本仕様書に記載のものより機能性、耐久性等が上回る場合は、速やかに消防本部と協議し検討すること。

(2) 同等品等の取扱い

ア 本仕様書に掲げる全ての装備、付属品及び資器材等の物品については、消

防本部の指定する物品又は同等品以上の物品とすること。

なお、同等品以上の物品を使用する場合は、性能資料を提出し消防本部と協議し承認を得るものとする。

イ 同等品の定義は、消防本部が同等の機能を有すると認めるものに限る。

(3) 進捗状況の報告等

ア 受注者は、契約後、製作進捗状況を必要により提示すること。

イ 受注者は、製作の一部を他の業者に外注する場合は、この仕様書を満たすように当該業者を監督するとともに、消防本部にその工程内容及び外注業者名の連絡先等を報告すること。

(4) 積載品等については、社会情勢等により納入に遅れが生じる可能性があるため、製造に当たっては、十分考慮し、必要に応じて消防本部と協議すること。

(5) 運用中の旧車両は、車両更新に伴い3台のうち2台を消防本部の指示に従い永久抹消すること。なお、手続に係る費用については、受注者の負担とする（本手続に要する期限は、本仕様書の納期に該当しないものとする。）。

第2 検査

1 中間検査

救急自動車製作中、各装備品が仮設置できる時期に、消防本部の中間検査を受けるものとする。

なお、検査を受ける予定日の30日前までに、検査日時、場所等を記した書面を提出し、消防本部の承認を得た後、指示に従い受検するものとする。

(1) 検査時期

消防本部の承認を得た後、適切な時期に実施する。

(2) 検査項目

ア 組立、板金、溶接の仕上がり状況

イ 各装置取付位置、機能等

ウ その他必要な事項

2 完成検査

救急自動車製作完了後に、消防本部の完成検査を受けるものとする。

なお、検査を受ける予定日の30日前までに、検査日時、場所等を記した書面を

提出し、消防本部の承認を得た後、指示に従い受検するものとする。

(1) 検査時期

救急自動車の製作が完了し、受注者の社内検査が終了した時点とする。

(2) 検査項目

ア 塗装、メッキ等の仕上がり状況

イ 各装置取付位置、機能等

ウ その他必要な事項

3 納入検査

(1) 新規検査（新車登録）に合格後は、速やかに消防本部の指定する期日及び場所において納入検査を受けること。

(2) 納入に際しては、救急自動車の各部（付属品含む。）について、十分な点検整備及び清掃を行っておくこと。

4 その他必要な事項

前記の各検査に合格しない場合は、次のとおりとする。

(1) 不具合の内容及び改善対策事項を記した書類を速やかに提出すること。

(2) 前記(1)で提出した書類については、消防本部が改善対策事項を承認した後、再検査を受けること。

第3 車両概要

1 主要諸元

救急車の主要諸元は、次のとおりとする。

(1) 車体は、本仕様書によりメーカーの標準自動車を一部改造及びぎ装するもので、その製造は、振動、衝撃等を十分緩衝できるものとし、あらゆる走行条件に対して安全で、かつ、安定性を持つものであること。

(2) 乗車定員

7人

(3) エンジン

ガソリンエンジンとすること。

(4) 駆動形式

4輪駆動方式とすること。

(5) 最高出力

105kW以上とすること。

(6) ステアリング

ア パワーステアリングとすること。

イ 音声合成機能及びフレキシブルマイクの操作ができるスイッチを設けること。

(7) ブレーキ

ABS（アンチロック・ブレーキ・システム）及び衝突回避兼被害軽減機能を持たせること。

(8) スロットル調整

オートアイドルアップシステムとすること。

(9) 変速装置

オートマチックとすること。

(10) 空調

デュアルエアコンとし運転室、傷病者室は個々に調整機能を持たせること。

(11) 車両安定制御システム

横滑り防止機能及びタイヤの空転防止による車両安定性機能を持たせること。

(12) 運転支援システム

注意喚起及び緊急車両存在通知の送受信器を取り付け、メーター内ディスプレイ等に送受信結果を表示する機能を持たせること。

(13) 先進ライト（自動ハイビーム）

先行車や対向車のライトを認識し、ハイビームとロービームを自動で切り替える機能を持たせること。

(14) 全方位モニター

車両を上から見たような映像をナビ画面に表示できる機能を持たせること。

(15) デジタルインナーミラー

車両後方カメラの映像をインナーミラー内のディスプレイ表示する機能を持たせること。

(16) 電子サイレン

音声方向指示内蔵型電子サイレン装置及び音声合成内蔵マイクロホン・電子

サイレン（ピーポー、ウーウー音）、運転席から音声合成及びウーウー音の操作ができるよう別途スイッチを設け、取付位置は消防本部と協議すること。

(17) モーターサイレン

ダッシュボードに運転席と助手席から使用できるようにプッシュスイッチを設けること。

なお、取付位置は消防本部と協議すること。

(18) カーナビゲーション

ア 最新ナビゲーションシステムとすること。

イ テレビ視聴不可とすること。

(19) ドライブレコーダー

常時記録機能を備えており、映像及び音声等を記録する機能を兼ね備えた最新のものとする（前方撮影用、後方撮影用）。

なお、映像及び音声等を記録する媒体の保存容量は、取付ける機器が対応できる最大容量のものとする。

(20) クリアランスソナー

左右フロントバンパーに設置し、低速走行時に障害物を検知したとき、音声又は音により知らせることができる最新のものとする。

2 車両外装

(1) 塗装

ア 車体の塗装は白色とし、清掃洗浄、完全なる錆止めと乾燥を行い上質塗料で塗装仕上げをすること。

イ 車体周囲の中央部には、朱色及び白色のラインを入れ、夜間における救急活動の安全確保のため、再帰反射材を使用すること。詳細は消防本部と協議すること（別紙参照）。

(2) 視界

ア 夜間の視界向上のため、LEDヘッドランプとすること。

イ 傷病者のプライバシー保護のため、左右リヤサイド、左右リヤクォーター及びバックドアにくもりフィルム（すりガラス状）を使用し、左リヤサイド、左リヤクォーター及びバックドアにカーテンを取り付けること。

ウ 夜間走行における視界向上と救急自動車の周囲からの視認性向上及び使用

電力削減のために従来の電球を使用している車幅灯や尾灯をＬＥＤと取り換えること。ただし、明るさが従来以上の能力を有するものであること。

エ 悪天候時の視界確保と他車からの視認性を向上させるため、フォグランプを取り付けること。

(3) 車両前面

ア 車両前面に指定した文字を表示すること。書体、大きさ、色、形体、位置等は、消防本部と協議すること（別紙参照）。

イ 車両前面の適したところに消防章（台座付）を取り付けること。

ウ 電子サイレンの操作等に点灯パターンが連動し明るく点滅するフロントルーフ赤色警光灯を取り付けること。

また、パーキングブレーキと連動し、赤色警光灯の点灯パターンを控えめに点滅させること。

エ フロントグリル中央の左右にＬＥＤ赤色警光灯を取り付けること。

オ フロントバンパー中央の左右に常時点灯青色ＬＥＤデイルイトを取り付けること。

(4) 車両後面

ア 後面ドアに指定した文字を表示すること。書体、大きさ、色、形体、位置等は、消防本部と協議すること（別紙参照）。

イ リヤステップにプロテクター（アルミ編板）を取り付けること。

ウ 乗降の安全性確保のためリヤステップには、すべり止めテープを貼り付けること。

エ 後退警報装置を取付け、後退警報音解除ボタンを取り付けること。

オ 車両後面の安全性を確保するために、バックガイドモニターカメラを取り付けること。

カ リヤバンパーに外部入力マグネット式コンセントを取り付けること。

また、ケーブルが接続されているときにエンジンをかけようとするとき警告を発する装置を設けること。

キ 電子サイレンの操作等に点灯パターンが連動し明るく点滅するリア赤色警光灯を取り付けること。

また、パーキングブレーキと連動し、赤色警光灯の点灯パターンを控えめ

に点滅させること。

(5) 車両側面

ア 車両左右側面に指定した文字及びデザインを表示すること。書体、大きさ、色、形体、位置等は、消防本部と協議すること（別紙参照）。

イ 左右スライドドア上部にウinkerに連動するサイドフラッシャーランプを取り付けること。

ウ 左右側面上部に補助赤色警光灯付LED作業灯を取り付けること。

エ 助手席ドアミラーにアウトサイドミラーを取付け、運転席ドア及び助手席ドアにサイドバイザーを取り付けること。

オ 左右後輪付近に夜間における視認性を向上させるため、LED路肩灯を取り付けること。

カ 左右フロントステップにアルミ縞板を取付け、すべり止めテープを貼り付けること。

キ 運転席側スライドドア内の縦型収納庫扉に資器材収納用網棚を設けること。

ク 助手席側スライドドア内のサイドステップにアルミ縞板及びすべり止めテープ、立ち面にアルミ筋板を取り付けること。

ケ 左右フロントフェンダーに、すべり止めテープを貼り付けること。

(6) 車両上面

ア 指定した文字で対空表示をすること。書体、大きさ、色、形体、位置等は消防本部と協議すること（別紙参照）。

イ 消防無線等のアンテナの設置は、消防本部が別に指定する業者が実施するが、設置に必要な配線工事及び工作をすること。

3 車両内装

(1) 運転席及び助手席

ア キーレスエントリーシステムを取り付けること。

なお、リモコン付きスペアキー2個を付属すること。

イ 運転席及び助手席に専用のフロアマットを付属すること。

ウ 助手席後部に車両動態管理端末装置（以下「AVM端末」という。）本体収納庫を設置すること。

エ 無線モニター用スピーカーを助手席側天井に取り付けること。

オ ダッシュボードにカーナビゲーションシステム（バックガイドモニター付最新ナビゲーションシステム）を取り付けること。

また、昼用表示と夜用表示を容易に切り替えるためのスイッチを設けること。

カ 運転操作及び救急活動に支障のない位置にETC 2.0を取付け、ナビゲーションシステムと連動させること。取付位置は消防本部と協議すること。

キ 運転操作及び救急活動に支障のない位置に常時記録タイプのドライブレコーダーを取り付けること。取付位置は消防本部と協議すること。

ク 広報活動用のため、オーディオデッキの音を車外放送可能にするためのスピーカー内外切替えスイッチを取り付けること。

ケ 助手席から傷病者室を容易に確認できるようにインナーミラーを取り付けること。

コ 運転席と助手席の間に地図入れを取り付けること。

サ 運転席後部に地図を入れるための収納を設けること（A3斜めタイプ）。

シ 運転席及び助手席の後部に、ヘルメット収納用フックを取り付けること。

ス 自動車用消火器（ABC6型）を助手席後部に取り付けること。

セ 電子サイレンを次のとおり設置すること。

(7) 電子サイレンアンプはステアリングのスイッチに連動できる機器にすること。取付位置は消防本部と協議すること。

(4) 「ウー音」吹鳴切り替え用のスイッチを増設すること。取付位置は消防本部と協議すること。

(7) 直進通過、交差点メッセージを使用するためのスイッチを設置すること。取付位置は消防本部と協議すること。

(2) 上記(4)及び(7)を操作した際に連動によりフロントルーフ及びリア赤色警告灯の点灯パターンを明るく点滅させること。

(4) 運転操作に支障のない位置に放送用フレキシブルマイクを取り付けること。取付位置は消防本部と協議すること。

ソ モーターサイレンを次のとおり設置すること。

(7) 大阪サイレン製（5SA型モーターサイレン）とすること。

(4) 助手席からも容易に操作できるようにスイッチを増設すること。

タ 救急活動中に全救急隊員が救急車を離れる場合に備え、盗難防止装置を設けること。

(2) 傷病者室

ア 傷病者室の床は、十分な強度及び耐久性を持ち、床張り材は、水洗い及び薬品等にさらされても汚損しない材質とすること。助手席後部のパーテーションに付属する手洗い装置を収納庫に改造すること。

イ 助手席後部のパーテーションに金属製扉付き収納庫と「ウェルパス」収納庫を取り付けること。

ウ 運転席後部縦型収納庫内に高さ調節及び取り外し可能な3段棚を設けること。

エ 患者灯調光器を取り付けること。

オ LED室内灯（調光機能付き）を取り付けること。

カ 換気装置に強・弱の2種類のスイッチを設けること。

キ 運転席及び助手席と傷病者室の間に間仕切りカーテンを設け、車両前方からののぞき込みを遮断できるようにすること。

ク 傷病者室助手席側面上部の無線用ハンドセット及びAVM端末は、消防本部が別に指定する業者が実施するが、配線等を露出せず施すこと。

ケ 傷病者室天井に無線モニター用スピーカーを取り付けること。

コ 傷病者室天井にAVM端末アンテナ等の点検口を設置すること。設置箇所については消防本部と協議すること。

サ 資器材収納庫は、オプション等で設置できるものは最大限設置するものとし、密封蓋付きのものとすること。なお、鍵付扉2つを含むものとする。

シ 傷病者室スライドドアを次のとおり設置すること。

㊦ 構造は、堅ろうで、かつ、走行中の振動により異音の発生が少ないものとする。

㊧ 血液、汚物等の汚損に対し清掃が容易で付着しにくいものとし、腐食に対しては十分な配慮をすること。

㊨ 寸法精度が高く、ゆがみ又はすき間が少ないようにすること。

ス 傷病者室右前部（運転席後部）縦型収納庫扉外面上部には、A3サイズホワイトボード、中部には、グローブボックス固定ベルト2連、下部には、レ

ントゲンフィルム等収納庫及び吸引カテーテル予備収納袋を取付け、扉内面には、網棚を取り付けること。また、縦型収納庫後面に、旧車両からオゾン消毒器を取り外し、取り付けること。

セ 酸素ボンベ収納庫上にレールを設置し、前側に３段収納庫を、後側に吸引器用ウォールブラケットを設置すること。

ソ 傷病者室右側面前方下部酸素ボンベ収納側面の引き出しに緩衝材を設けること。

タ 傷病者室右側面前方下部酸素ボンベ収納側面の書類入れにベルトを追加すること。

チ 傷病者室右側窓下側面収納庫には、スクープストレッチャー及びバックボードを同時に収納出来る構造とすること。

また、走行中の振動及び横揺れ等により飛び出したりすることのないよう簡便で確実な方法により固定すること。

ツ 傷病者室右側窓下側面収納庫上部には、蛇管収納、ベンチサポートアーム、携帯型モニタリング機能付除細動器を積載するための電源を含む設備、汎用メディカルポール、３段引き出し収納庫を取り付けること。

また、搬送用人工呼吸器を持ち出し可能な構造の固定具により固定すること。

なお、携帯型モニタリング機能付除細動器においても持ち出し可能な構造の架台を取り付けること。取付位置等は消防本部と協議すること。

テ 収納庫等については次のことに留意すること。

(7) 各扉及び引き出しは、走行中の振動、又は内容物の移動により開放しない構造とすること。

(4) 内面には、必要に応じ積載品の固定装置及び緩衝材を設けること。

ト 傷病者観察用資器材の配線配管等を掛けることができるＣ型フックを最大限取り付けること。

ナ 車両天井に輸液ビンホルダーを取り付けること。

ニ 傷病者室における傷病者への酸素投与のために酸素吸入装置を設置すること。

なお、配管ホースは、極力傷病者室に露出しないようにすること。

ヌ 右前下部酸素ボンベ収納庫には、酸素ボンベ10L型用鋼板製受台2本分を
設けボンベの取り外しが簡便かつ確実な固定バンドを設けること。

ネ 救急沼津7号車のメインストレッチャーは、次の機能を有するものである
こと。

(ア) モーター及び油圧を活用した電動油圧昇降システムを備えた電動式スト
レッチャーであること。

(イ) ストレッチャー本体のボタン操作で、無段階に昇降位置を設定できるこ
と。

(ウ) バッテリーにより稼働できるものとする。

(エ) バッテリーが切れた場合の手動操作は、工具等を用いることがなく全ての
操作を手動で操作できる構造とすること。

また、架台から取り外す際には、付属のパーツを取り外すことなく車外
搬出ができること。

(オ) バッテリーは、残量表示機能を有すること。

(カ) ストレッチャー本体のバッテリーは、交換できる構造とし、着脱はワンタッ
チで工具などを使用しないこと。

(キ) 迅速に搬入出ができるものとし、搬入出時に1つのボタン操作で4輪を
同時に収納及び展開できる機能を有すること。

(ク) 暗い場所でも視認性を高めるライト及び反射材を有すること。

(ケ) ストレッチャー重量は、可搬性を考慮し、ストレッチャー本体及び付属
品を含み、70kg程度とし、80kgを超えないこと。

(コ) ストレッチャーは、全長を160cm程度まで短縮できる構造であること。
また、体位変換が可能な機能を有すること。

(サ) ストレッチャー本体のブレーキペダルは、一つのペダルで同時に2輪の
ロックが掛けられる機能を有すること。

(シ) 4輪同時の操作を手動で1本のレバーで行えること。

ノ 救急田方4号車及び救急東伊豆1号車のメインストレッチャーは、手動式
とし、左右サイドアームプレート、ガートル架キット、固定ベルト2本を取
り付け、頭部固定改良型枕2個を付属させること。

また、「オキシクリップ」をセットできるようにすること。

ハ 救急沼津 7 号車のメインストレッチャーを積載する架台は、次の機能を有するものであること。

- (ア) ストレッチャー本体の重量及び耐荷重に耐えうる架台であること。
- (イ) ストレッチャー搬出時に脱落を防止するロック機能を有すること。
- (ウ) ストレッチャー本体のボタン操作でストレッチャーと架台とのロック解除が可能であること。
- (エ) ストレッチャー搬入出の際にストレッチャーが正しくセットされていることを操作者が確認できるよう、LED で表示する機能を有すること。
- (オ) 車内収容時、架台からストレッチャーのバッテリーへ非接触で充電を行えること。

ヒ 救急田方 4 号車及び救急東伊豆 1 号車の防振ベッドは、最新式のものとし搬入ガイドを設置すること。

フ 隊員用シートを傷病者室スライドドア入口の右側、補助隊員用シートとして折り畳みシートを右側前部、2 人掛けの横向きシートを傷病者室助手席側後部に設けること。隊員用シートは、前向きヘッドレスト背当て固定機能付とし、シートベルトは、3 点式 E L R シートベルトとすること。

なお、隊員用シートの背当て部分を倒して傷病者用ベッドとして使用するため平らに使用できる構造とすること。

ヘ 横向きシート下に収納庫を設け、2 点式シートベルトを座席の定員分取付け、直ちに使用できるように収納できること。

また、シートベルト着装を促すようカッティングシート等で表示をすること。書体、大きさ、色、形体、位置等は消防本部と協議すること。

ホ 傷病者室天井及び右側面に手すりパイプを最大限設けること。

なお、パイプについては、走行中に隊員が応急処置を実施する際の安全確保のために必要な形状とし、かつ、強度及び耐久性を持たせるための補強材を組み込むこと。取付位置、数量については消防本部と協議すること。

マ 傷病者室天井にシーネ、ネックカラー等が入る大きさの網棚を設け、収納物が車両走行時の振動及び横揺れ等により落下しないような構造とすること。

ミ アナログ時計、電波時計及び温湿度計を取り付けること。取付位置については消防本部と協議すること。

ム 隊員用シートを倒しバックボード等を固定するための補助ベルトを取り付けること。

メ バックドアストラップは、長いストラップを追加すること。

モ 救急活動に支障のない位置に常時記録タイプの後方撮影用ドライブレコーダーを取り付けること。取付位置は消防本部と協議すること。

ヤ バックドア開口部助手席側に長タイプグリップを取り付けること。

ユ 別表 1 に掲げる機器の取付装置は、救急処置に最も適した位置に固定又は容易に取り出すことができるように、専用金具を設け、かつ、走行中の振動等による機器の損傷を生じさせない構造とすること。取付位置については消防本部と協議すること。

ヨ AC 100V用コンセント（2口）を2箇所以上及びDC12Vシガライター型コンセントを設けること。また、各コンセントには、容量表示すること。

ラ 複数の積載資器材を同時に使用することができる電圧変換インバータを取り付けること。

リ スローバック1個、防水防爆LEDライト3本を付属すること。

ル 車内待機中に携帯電話等の充電式資器材を外部電源で充電が行えるように、傷病者室内右壁面にAC 100V用コンセント（2口）を設けること。

4 積載又は設置する業務機器

(1) 車載無線機及びAVM端末

車載無線機及びAVM端末の取り付けは、消防本部が別に指定する業者（以下「指定業者」という。）が実施するが、取り付けに必要な配線工事及び工作をすること。

なお、詳細については消防本部及び指定業者と協議するものとする。

また、次の項目に留意すること。

ア 配線は配管パイプ内を通すこと。

イ 電源配線とアンテナ配線及び信号配線は別の経路をとること。

ウ 配線等は、新品を使用すること。

エ 敷設した配線の端末には、全て荷札を取り付けて種別を明確にすること。

オ 配線工事に必要な部材は消防本部又は指定業者が支給する（詳細は別途協議する。）。

(2) 医療資器材

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に該当する医療資器材は、車両納入直前に医療機器販売業者と調整を行い、取付けに支障がないようにすること。

第4 その他の事項

1 文字等の表示

(1) 消防本部名

ア 文字入れの部分は、ボディー両側面及び後面とすること。

イ 表記名及び具体的な位置等は、別紙のとおりとする。

(2) 救急隊名称

ア 文字入れの部分は、ボディー両側面とすること。

イ 表記名及び具体的な位置等は、別紙のとおりとする。

(3) 対空表示

ア 文字入れの部分は、ボディー上部とすること。

イ 表記名及び具体的な位置等は、別紙のとおりとする。

(4) その他の表示

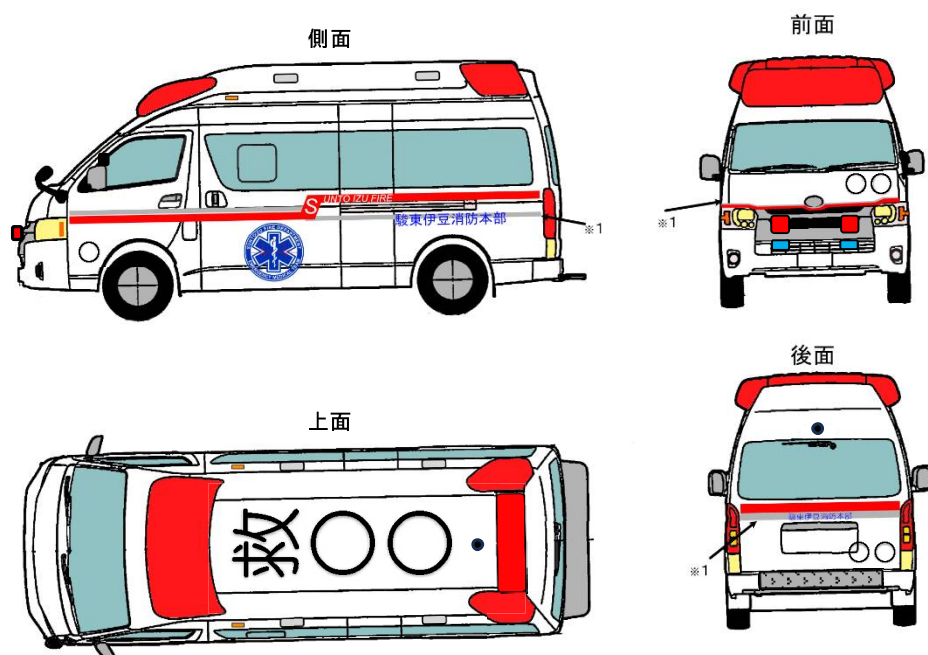
スイッチ類には名称及び「入・切」又は「ON・OFF」等の表示をすること。

2 取付装置・積載品・車両概要（表）

(1) 取付装置、旧車両からの移設資器材、積載品及び付属品一覧は、別表1、別表2及び別表3による。

(2) 車両概要（表）は別表4による。

高規格救急自動車 詳細図



車両表示名			
消防本部名			
駿東伊豆消防本部			
救急隊名		対空表示名	
〇〇		救〇〇	
文字色	字体	文字色	字体
プリンセブルー	丸ゴシック	プリンセスブルー	丸ゴシック

エンブレム詳細図



- ・文字：SUNTOIZU FIRE DEPARTMENT
EMERGENCY MEDICAL TEAM
- ・ヘビの目は♡。♡の色指定は赤色。

別表 1（取付装置）

品 名	数 量	規 格 等
流量計付加湿酸素吸入装置 （酸素レギュレーター含）	1 式	O X Y P A C O X - Ⅲ S
携帯型モニタリング機能付 除細動器	1 式	デフィブリレータ E M S - 1052 カルジオライフ E M S
吸引器	1 式	レールダル L S U 4000
携帯用人工呼吸器	1 式	メデュマットイージー
ウォール型アナロイド 血圧計	1 式	ウェルチアレン 新タイコスア ネロイド血圧計ウォール型 7670-01 C B

（取付装置については、消防本部が用意する。）

別表 2（旧車両からの移設資器材）

品 名	数 量	規 格 等
オゾン発生器	1 式	タムラテコ B T - 03

別表 3

(積載品)

品 名	数 量	規 格 等
メインストレッチャー (救急沼津 7 号車)	1 式	日本ストライカー社製 P o w e r - P R O II 又は同等品
	1 本	・ 左側 I V ポール
	1 個	・ 枕 T C 902 黒
	1 個	・ 枕 S q u i d - P i l l o w 又は 同等品
メインストレッチャー (救急田方 4 号車及び 救急東伊豆 1 号車)	1 式	ファーノワシントン スカッドメイトモデル 9304 ・ サイドアームプレート #160-1 #9304 用 左右 ・ サイドアームプレート用カバー 緩衝材入り #9304 ・ ガートル架キット 新型ガートル架キット #9304 用
	1 個	・ 枕 T C 902 黒
	1 個	・ カマボコ型枕 ベルト付 黒
	2 本	・ 患者固定ベルト 2 本
スローバック	1 式	スローラインバック ロープ：レディラインスローライン 22.5m
防水防爆 L E D ライト	3 個	P E L I C A N S t e a l t h L i t e 2410
防刃チョッキ	3 着	N T - 2 G 型
特定小電力トランシー バー	3 式	アイコム株式会社 IC-4350

冷却ベスト	3 着	ディフューザースリー・クール（冷却材 4 個）
防滴メガホン	1 式	ユニペックス TR-215S A

（付属品）

品 名	数 量	規 格 等
スタッドレスタイヤ	5 本	ホイール付 1 台分
タイヤチェーン	1 式	非金属
ブースターケーブル	1 式	5 m 以上 90 A H 以上

別表 4

	No.	品 名	数 量	規格・仕様等
主要諸元	1	駆動形式	1 式	四輪駆動
	2	最高出力	1 式	105 k W以上（ネット値）
	3	ステアリング	1 式	パワーステアリング・音声合成及びフレキシブルマイク操作スイッチ
	4	ブレーキ	1 式	A B S （アンチロック・ブレーキ・システム）
	5	スロットル調整	1 式	オートアイドルアップシステム
	6	変速装置	1 式	オートマチック
	7	空調	1 式	デュアルエアコン 調整機能
	8	車両安定制御システム	1 式	横滑り防止機能・タイヤ空転防止機能
	9	運転支援システム	1 式	注意喚起及び緊急車両存在通知等送受信器 メーターディスプレイ内表示
	10	先進ライト	1 式	自動ハイビーム
	11	モニター	1 式	全方位モニター
	12	インナーミラー	1 式	デジタルインナーミラー
	13	電子サイレン	1 式	ステアリングスイッチ連動機能付きアンプ（音声合成、住宅モード付） 直進通過、交差点メッセージスイッチ
	14	モーターサイレン	1 式	大阪サイレン製（5 S A型モーターサイレン）
	15	カーナビゲーションシステム	1 式	純正品
	16	ドライブレコーダー	1 式	前方・後方撮影用
	17	クリアランスソナー	1 式	フロントコーナーセンサー、フロントバンパー左右
車両外装	塗装	18 塗装	1 式	白色（清掃洗浄、完全錆止め、上質塗装仕上げ）
		19 ライン（朱色及び白色）	1 式	再帰性に富んだ反射材 車体周囲中央部
	視界	20 ヘッドランプ	1 式	L E D
		21 くもりフィルム（すりガラス状）	1 式	右窓・左クォーター部全面・左スライド扉 1 部透明 1 2/3
		22 車幅灯・尾灯	1 式	L E D
		23 フォグランプ	1 式	
	車両前面	24 消防章	1 式	車両前面（台座付）
		25 フロントルーフ赤色警光灯	1 式	電子サイレンの操作等に発光パターンが連動
		26 フロントグリル赤色警光灯	1 式	大阪サイレン製 L F A - 150 （2 灯）
		27 青色 L E D デイライト	1 式	適合品
	車両後面	28 リヤステップ	1 式	リヤバンパープロテクター（アルミ縞板製）、すべり止めテープタイプ A
		29 後退警報機（音声アラーム）	1 式	バック（音声合成）警報解除ボタン（運転席）
		30 バックガイドモニターカメラ	1 式	純正品
		31 外部入力マグネット式コンセント	1 式	警告装置付 リヤバンパー
	車両側面	32 サイドフラッシャーランプ	1 式	左右スライドドア上部 ウィンカー連動
		33 L E D 作業灯	1 式	補助赤色警光灯付
		34 アウトサイドミラー	1 式	助手席ドアミラー
		35 サイドバイザー	1 式	運転席・助手席
		36 L E D 路肩灯	1 式	L E D 路肩灯（メインスイッチ付）左右後輪付近
		37 左右フロントフェンダー	1 式	すべり止めテープ タイプ C 延長版
		38 左右フロントステップ	1 式	アルミ縞板及びすべり止めテープ タイプ A
		39 左サイドドアステップ	1 式	アルミ縞板及びすべり止めテープ タイプ A 立ち面にアルミ筋板
	上面	40 消防無線等アンテナ	1 式	設置に必要な配線工事及び工作 車両上面

	No.	品 名	数 量	規格・仕様等
車 両 内 装	運 転 席 ・ 助 手 席	41 キーレスエントリーシステム	3個	リモコン付・スペアキー2個
		42 フロアマット	1式	運転席及び助手席
		43 AVM車両端末本体収納庫	1式	助手席後部
		44 運転室無線用スピーカー	1式	無線用スピーカー(左)～助手席後部
		45 ETC	1式	ETC2.0ユニット ナビゲーションシステム連動
		46 広報用スピーカー切替スイッチ	1式	内外切替スイッチ(大阪サイレンアンプ用)
		47 インナーミラー	1式	助手席用
		48 地図入れ	1個	A3サイズ(蓋無し) 運転席助手席中央
		49 地図入れ	1個	A3サイズ 運転席後部
		50 ヘルメット収納用フック	3式	運転席及び助手席後部
		51 自動車用消火器	1本	ABC6型
		52 フレキシブルマイク	1式	大阪サイレン用 UD-200TTC 運転席
		53 盗難防止装置	1式	純正品
	傷 病 者 室	54 床	1式	十分な強度及び耐久性
		55 床張り材	1式	ウォッシュャブルフロア
		56 助手席後部パーテーション収納庫	1式	手洗装置収納庫改造
		57 助手席後部パーテーション収納庫	1式	収納庫-EⅡ、ウェルパス(10) 収納庫(収納庫E脇)
		58 運転席後部縦型収納庫内	1式	棚板3段
		59 患者灯調光器	1式	運転席後
		60 室内灯	1式	LED室内灯調光器
		61 換気装置	1式	強弱機能 スイッチ
		62 くもりフィルム	1式	右窓・左クォーター部全面・左スライド扉1部透明I2/3
		63 カーテン	1式	左リヤサイド・左リヤクォーター・バックドア
		64 間仕切りカーテン	1式	運転室と傷病者室の間
		65 傷病者室無線用スピーカー	1式	無線用スピーカー(左)～助手席後部
		66 資器材収納庫	1式	ルーフサイド収納庫右前・左前(施錠装置付)、収納庫大
		67 ティッシュ/グローブボックス	1式	固定ベルト(2連)縦型収納庫標準扉用(中部)
		68 レントゲンフィルム等収納庫	1個	幅狭 縦型収納庫外扉
		69 吸引カテーテル予備収納袋	1個	縦型収納庫外扉
		70 ホワイトボード	1式	A3ホワイトボード
		71 ネットシェルフ	1式	2段I(扉内側)
		72 オゾン発生器	1式	BT-03(旧車両から移設) 縦型収納庫後面
		73 収納庫上レール	1式	酸素ボンベ収納庫上レール
		74 3段収納庫	1式	前側
		75 吸引器取付ブラケット	1式	LSU4000
		76 緩衝材	1式	酸素ボンベ収納側面引出し内
		77 書類入れ	1式	書類入れ用改造 ベルト付属
		78 スクープストレッチャー・バックボード収納	1式	スクープストレッチャー65EXLとバックボードの固定装置
		79 汎用メディカルポール	1式	傷病者室右側窓下側面収納庫上部
		80 患者回路(蛇管)等収納庫	1式	傷病者室右側窓下側面収納庫上部
		81 呼吸回路等サポートアーム	1式	ベンチサポートアーム 傷病者室右側窓下側面収納庫上部
		82 3段引き出し	1式	傷病者室右側窓下側面収納庫上部
		83 搬送用人工呼吸器固定具	1式	メデュマットイージー

	No.	品 名	数 量	規格・仕様等
車 両 内 装	84	携帯型モニタリング機能付除細動器架台	1式	デフィブリレータ EMS-1052 カルジオライフEMS
	85	C型フック	多数	取付箇所別途協議
	86	輸液ビンホルダー	1式	2本取付：天井後部
	87	酸素吸入装置取付	1式	オキシパックOX-ⅢS ヨークバルブ使用（ボンベハンドル付）
	88	酸素ボンベ固定用受皿金具	1式	右前下部酸素ボンベ収納庫
	89	メインストレッチャー架台（救急沼津7号車）	1式	日本ストライカー社製Power-LOAD電動ファスナー又は同等品
	90	搬入ガイド（救急沼津7号車以外）	1式	スカッドメイト用
	91	防振ベッド（救急沼津7号車以外）	1式	スカッドメイト用
	92	隊員用シート	1式	背当て固定機能付 平らに使用できる構造
	93	補助隊員用シート	1式	折り畳みシート 右側前部 E L Rシートベルト
	94	横向きシート下収納庫	1式	2人掛け 2点式シートベルト
	95	シートベルト装着表示	1式	取付箇所別途協議
	96	アシストグリップ	1式	延長・右前・右後
	97	ルーフネット 天井部	1式	左前後ロングセット・右前
	98	アナログ時計	1個	取付箇所別途協議
	99	温湿度計	1個	取付箇所別途協議
	100	電波時計	1式	取付箇所別途協議
	101	ウォール型血圧計	1式	取付箇所別途協議
	102	バックボード等固定補助ベルト	1式	隊員用シート後部
	103	バックドアストラップ	1本	バックドア左
	104	長タイプストラップ	1本	バックドアストラップ追加（長タイプ）
傷 病 者 室	105	A C 100 V 用 コンセント （2口）	1式	傷病者室内右全壁面（外部電源充電）、他取付箇所別途協議
	106	D C 12 V コンセント （3口）	1式	取付箇所別途協議
	107	インバーター	1式	取付箇所別途協議